

看護ハナマル先生模擬授業

教育活動委員会 委員長：青山ヒフミ（甲南女子大学看護リハビリテーション学部）
副委員長：手島 恵（千葉大学看護学部）
委員：田中結華（摂南大学看護学部）
委員：池西 静江（元京都中央看護保健大学校、office kyo-shlen）

小学校、中学校等においては教員の教育能力育成や授業の質の向上のために、教育関係者など多数の人に授業を公開することが広く行われている。校内の先生だけが参観する小規模なものから、全国的に行う大規模なものまで多々あり、教育の現場に根付いた有意義な活動となっている。

今回、看護学教育の質の向上を目指し、優れた授業やユニークな教材の工夫などで教育成果を上げている教員を招聘し、学術集会の場で日頃行っている授業の一端を紹介してもらうことを企画した。その授業に対し教育学の専門家からのコメントを得て、学生にわかりやすい授業、影響を与える授業について good practice を実践的に学ぶ機会にすることを目的としている。

本企画の一つの特徴は、授業の受け手である看護学生から看護教員を推薦してもらうことである。看護が、その対象である人と集団にとってどうであるのかを何よりも大切にすると同様に、教育の対象である学生にとって、その授業がどうであるのかを大切にしたいと考えたからである。二つ目の特徴は、参加者は公開される授業を研究的な対象として批判的に見るのではなく、学生の立場になって授業を聴講することである。その中で感じたことや気がついたことを書き留め、参観した授業と比較しながら自分自身の授業を振り返る機会とする。このことを通して更なる授業活動改善への示唆を得ていただきたいと考えている。具体的なタイムスケジュールは下記の通りである。多くの方々の参加を期待している。

【タイムスケジュール】

- 0-45分 看護ハナマル先生より授業の展開
- 45-60分 授業者より「授業において自分が大切にしていること」の紹介
- 60-75分 質疑応答と教育学の専門家よりコメント
- 75-90分 理事長から感謝状授与
アンケートの記載と回収